

RPHA 90

Owner's Manual



製造元 HJC corp. 23, SEORI-RO, RIDONG-MYUN, CHEOIN-GU YONGIN-SI, KYUNGKI-DO, KOREA TEL 82-31-333-5451

販売元 株式会社アルビス タイチ 〒570-0901 大阪府東大阪市加納6-4-9 TEL. 072-874-3268 FAX. 072-874-3385 e-mail : taichifrs@taichi.co.jp



▲警告

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、H J C ヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はH J C ヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ご使用になる前に必ずお読み頂き、安全快適なバイクライフをお楽しみください。又、ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、必ずお読みください。またお読みの後は大切に保管しておいて下さい。

REV.00 / JP

S G マークは (Safety Goods) 安全な製品の略号で製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について、安全な製品として必要な事象を定めた認定基準を、製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

PS C マークは P は Product (製品)、S は Safety (安全) の略号で定められたものです。なお、PS マークの下の C は Consumer (消費者) の略号です。国は、消費生活用製品のうち、一般消費者の生命又は身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政令で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には PS C マークの表示がされ、PS C マークを表示していないものはその販売を禁止されています。

乗車用ヘルメットの有効期限は、「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このため S G マークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、充分ご注意ください。

製品安全協会/日本安全組工業会

S G マークのマークの被害者救済制度について

ヘルメットについている S G マークは、万が一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定める認定基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース/サーカス等)に用いている際の負傷や認定基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥により事故がおきた場合は

「賠償手続きは以下の通りです」

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ製品安全協会 消費者生活用品 P L センターへ連絡してください。電話番号は03-5808-3303です。
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかが決定します。

S G マークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪2階 製品安全協会 消費生活用製品 P L センター 電話番号 03-5808-3303

▲警告 ヘルメットの保護能力には限度があります。

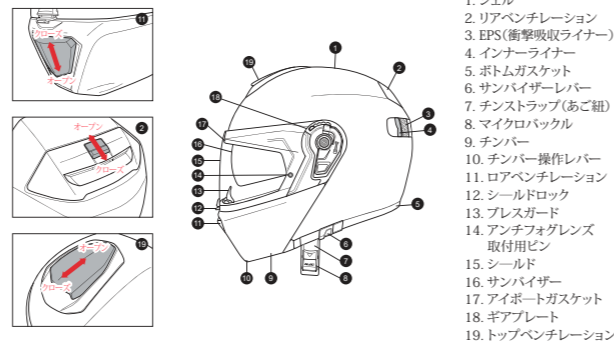
H J C ヘルメットは国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万の一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものにはすぎません。

▲警告 必ず守って頂きたい注意事項

- ・使用前点検を必ず行ってください
構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。ベンチレーションや内装等の取り付け部品がしっかり固定されているか? スクリュー等が緩んでいないか? 良く確認してご使用ください。
- ・頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。
大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。又小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事がります。首を振ってもズレない頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

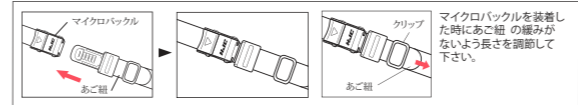
- ・**あご紐**はしっかり締めてください。あご紐を締めなかつたり、ゆるい締めかたでは走行中にズレたり、万一反転時に脱着してしまい、頭を守る事ができません。
- ・走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。
- ・**汚れや傷**のついたシールドで走行しないでください。走行中、視野の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし傷の付いたシールドは新しい補修部品に交換してください。
- ・**走行中の環境変化に対する注意**
突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。この様な状況が予測される時は、走行前にシールドの開度を調整し、通常よりスピードをおさえて走行してください。
- ・**大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくてもご使用しないでください。**ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、これではイザという時、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ・**改造は絶対しないでください。**ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。
- ・ヘルメット及びシールドのお手入れには**専用の中性洗剤**をご使用ください。熱湯(50度C以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用しますと本体及びシールドに影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。
- ・ヘルメットに**塗料、接着剤、ガソリン**、その他何なる**溶剤**もつけないでください。溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が著しく低下します。
- ・**ヘルメットを持ち運ぶ時の注意。**ヘルメットは必ず本体又はあご紐を持って取り扱ってください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。

各部の名称



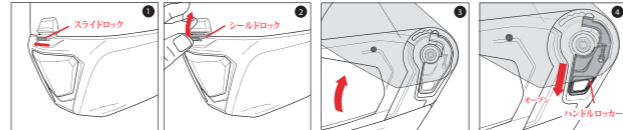
あご紐の締め方

▲警告 あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一反転した際にあご紐が外れてしまい、重大な後遺症が現れたり、最悪の場合死に至ることもあります。



シールドの取り外し

1. スライドロックを矢印の方向へ動かします。
2. シールドロックのタブを持ち上げてロックを外します。
3. シールドを全開にしてください。
4. ハンドルロッカーを矢印の方へスライドさせて下さい。シールドがギアプレートから外れます。



シールドの取り付け

1. シールド内側の突起部分を図①の様に合わせ、挿入してください。
2. カチッという音がして、シールドが固定されます。

▲警告 ヘルメットを使う前に、パッドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付されていないと、事故発生時の深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

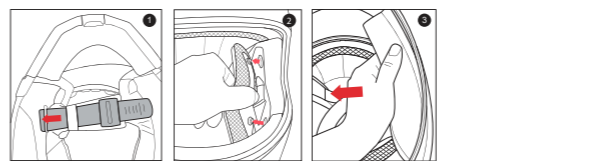
インナーライナーの取り外し

1. 前側の四カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきます。
2. 後方の二つのスナップボタンを外して下さい。

1. インナーライナーの枠を四カ所のツメの下に押し込み取り付けます。
2. 後方の二つのスナップボタンを取り付けます。

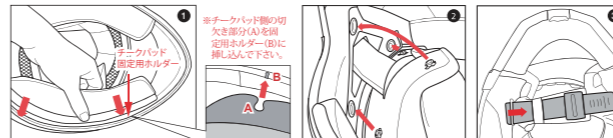
チークパッドの取り外し

1. チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定しています。
1. マイクロバククルのオス側を矢印の方向へループに通します。
2. チークパッド内側にある3つのスナップボタンをやさしく外して下さい。
3. 図③の様に引き抜きながら、あご紐をチークパッドのスリットを通して本体から外します。



チークパッドの取り付け

1. プラスチック板をシェルとEPSの間のスキマに入れます。
2. チークパッドのスリットにあご紐を通して、3カ所のスナップボタンを取り付けます。
3. 最後にマイクログリップのオス側をあご紐のループに通します。



チンカーテン追加パッドの取り付け

- ※ 付面のパッドをチンカーテン内側に取り付けることで、首元からの風の巻き込みを軽減することができます。

イヤerpパッドの取り付け

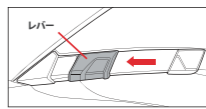
- ※ 用途やフィッティングに合わせて、お好みでイヤerpパッドを装着することができます。

▲警告

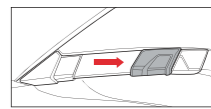
- オートバイの運転中にサンバイザーを操作しないでください。
- サンバイザーを操作する時は必ずサンバイザーレバーを使って下さい。
- 夜間はサンバイザーを使用しないでください。また、サンバイザーは風や飛び石などから目を保護する為のものではありません。走行時は必ずシールドを閉めた状態で使用下さい。

サンバイザーの操作方法

レバーを前へスライドさせるとサンバイザーが収納されます。

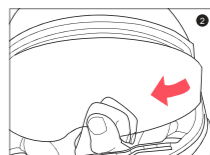
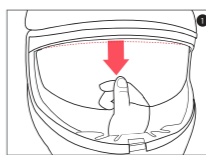


レバーを後へスライドさせるとサンバイザーが出ます。



サンバイザーの取り外し

1. サンバイザーを下した状態で、サンバイザーの上端が見えるまで引き出して下さい。
2. サンバイザーの横側を矢印の方向に引っ張り外します。同様に逆側も外して下さい。



サンバイザーの取り付け

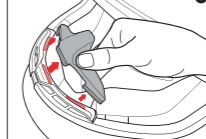
1. サンバイザーの横側のタブ(A)をホルダー(B)に差し込んで下さい。同様に逆側も差し込みます。



※サンバイザーを取り付ける時は確実にタブを奥まで挿し込んで下さい。挿し込みが浅いとサンバイザーが正しく作動しません。取り付け後は、サンバイザーが正しく作動するか確認してください。

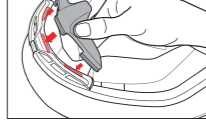
プレスガードの取り外し

1. プレスガードをつかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。



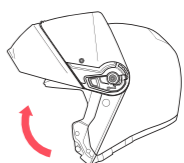
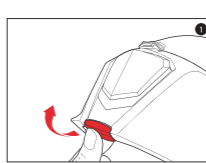
プレスガードの取り付け

1. 図の様にプレスガードをヘルメット側の隙間に合わせ、上から押さえてツメ部分をしっかりと奥まで挿し込みます。



チンバーの開け方

1. チンバーをオープンする時は、レバーを前方に引っ張ってチンバーの全体を上に乗します。
2. 「カチッ」という音がするとチンバーが完全にオープンになります。



チンバーの閉め方

- ▲警告 オートバイに乗るときにはチンバーを閉めて走行して下さい。
- 1. チンバーをゆっくりと降ろして下さい。
- 2. チンバーが完全に閉まっているかを確認するため、必ず「カチッ」という音を確認してください。

